

東京女子高等師範學校教授  
同附屬高等女學校主事

倉橋惣三氏著

# 幼稚園雜草

◆四六判特製美本函入  
◆定價金貳圓五拾錢  
◆送料金拾八錢  
◆紙數五百二十餘頁

東京市日本橋區大傳馬町二丁目  
内田老鶴圃

振替東京一三一四六番  
電話浪花一一三三五番

## 最新刊

教育の理論を説いた書は多い、方法を教へた書は更に多い。しかし教育の心を語つた書は少ない。とけわけて眞に幼児の生活に觸れた書は更に少ない。現代の日本が生んだ唯一の幼児教育の權威たる著者は、永くお茶の水の幼稚園の主事として名を噴々たる人、本書は著者が多年幼児の間に在つて體得した獨自の感想と考察とを述べて、幼兒の生活を中心とした人間教育の眞意を味到せしめんが爲めである。或は詩庭の母とに贈つたものである。或は詩趣に尤ちた感想文があり、教育の理想國を描いた創作があり、或は著者の溫容を彷彿せしむる講話があり紀行觀察錄がある。豊かな興味と深き感銘と清き教訓とは、そのまゝ著者の心より讀者の胸へ流れ渡つて盡きないものがある。

◇本籍内容目次◇  
園丁雜感▽我等の前途▽人間の偉大さ▽自然の一致▽日光の子ども▽國家のために▽子どものもつてゐる癖▽布袋▽親しむ心▽新らしい人の聲▽寒風▽春が来る▽外へ外へ▽お正月▽春上る▽春が来る▽雨の日▽お祭りの野へ▽春の足跡▽夏やすみ後▽お月が來た▽この春▽夏が來て▽お茶の水に歸る▽この春▽夏が來て▽お茶の大災と幼児教育▽行啓を迎へまつりて▽森の幼稚園▽1歳の先生▽2がたりて▽森の幼稚園▽1歳の先生▽2がたりて▽詩の會▽6 應接問▽7 研究会▽8 新茶▽夏子▽

◇幼稚園の生活▽幼稚園は如何なる處に▽幼稚園を終了する兒童達に▽おつきを初て幼稚園に送る方に▽家庭と幼稚園

### ◇幼兒に聽かせるお話

倉橋惣三先生序  
日本幼稚園協會編

定價 參圓八拾錢  
送料 拾八錢

### ◇幼稚園保育要目

萬國幼稚園協會案  
日本幼稚園協會譯  
倉橋惣三先生序

定價 壹圓五拾錢  
送料 拾貳錢